

1999年10月の大気大循環と世界の天候

大気大循環

北半球500 hPa 高度場では、極渦の中心はグリーンランドの北に位置していた。極付近は波数1が卓越し、アイスランド付近、西・東シベリア、北極海では正偏差となり、モンゴルから中国北東部、北アメリカ北部、グリーンランド、ヨーロッパ中部からカスピ海にかけては負偏差に覆われた。偏西風は中国から太平洋中部にかけて平年よりも強く、強風域は平年よりも東西に広がっていた。北アメリカから大西洋にかけてとヨーロッパ南部も平年より強かった。日本付近のジェットは月の前半平年に比べ北に位置していた。200 hPa における速度ポテンシャルの分布図では、大規模発散域の中心はマレー半島付近にあり、平年に比べて50度ほど西偏していた。中央アメリカ付近の発散中心は平年より10度ほど北西に偏っていた。SOI (南方振動指数) は-0.1 (暫定値) であった。

世界の天候

① 西日本から中国南部の高温

東アジア・シベリアでは一部を除き、高温傾向となった。中国南部では台風による被害が伝えられた。

② インド東部の高温

インドやパキスタンでは高温となった。異常少雨となったパキスタンを除いて、アジア南部では多雨傾向となった。インドではサイクロンの被害が報じられた。

③ 中央アジアから西シベリアの高温

④ 中東からアフリカ北部の高温

中東やアフリカ北部は高温少雨となった。チュニジアのケルーアンで24.1°C (平年差+4.0°C)。

⑤ スペインからモロッコにかけての多雨

⑥ カリブ海諸国の高温

カリブ海諸国は高温多雨となった。バハマのナッソーで27.2°C (平年差+1.3°C)。メキシコやホンジュラス、グアテマラなどの中米諸国では、9月中旬から降り続いた大雨による被害が報じられた。

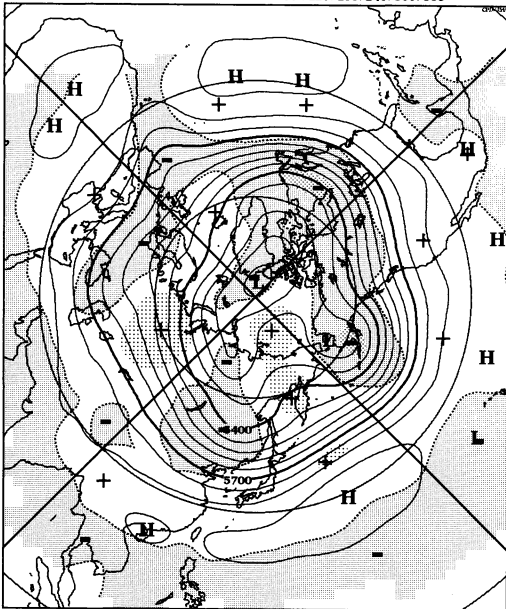
⑦ アルゼンチン南部の高温

アルゼンチンでは南部は高温となる一方、北部は低くなった。アルゼンチンやベネズエラでは多雨となった。

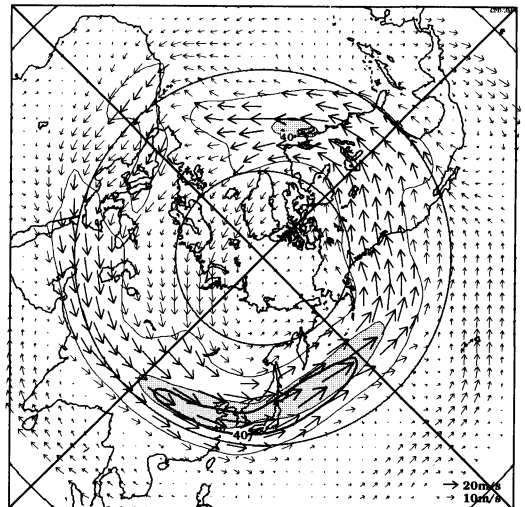
⑧ ニューゼaland 周辺の少雨

(気象庁気候・海洋気象部気候情報課 徳広貴之)

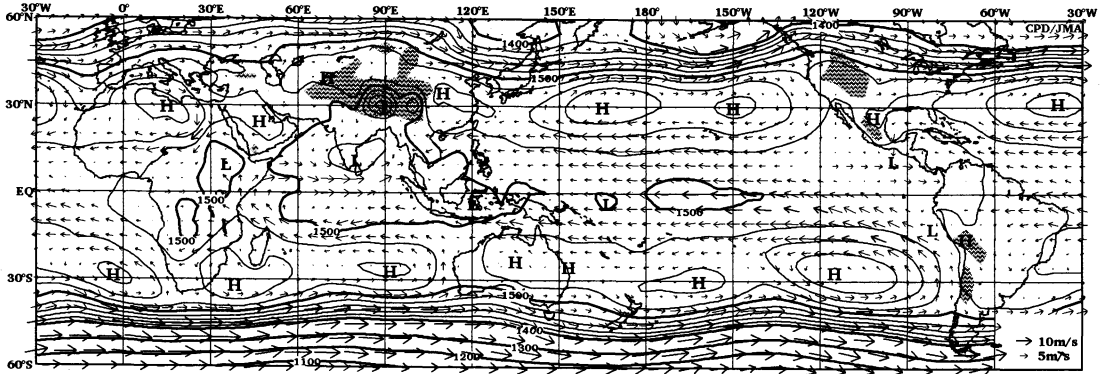
anomalies (m)
-360 -300 -240 -180 -120 -60 0 +60 +120 +180 +240 +300 +360



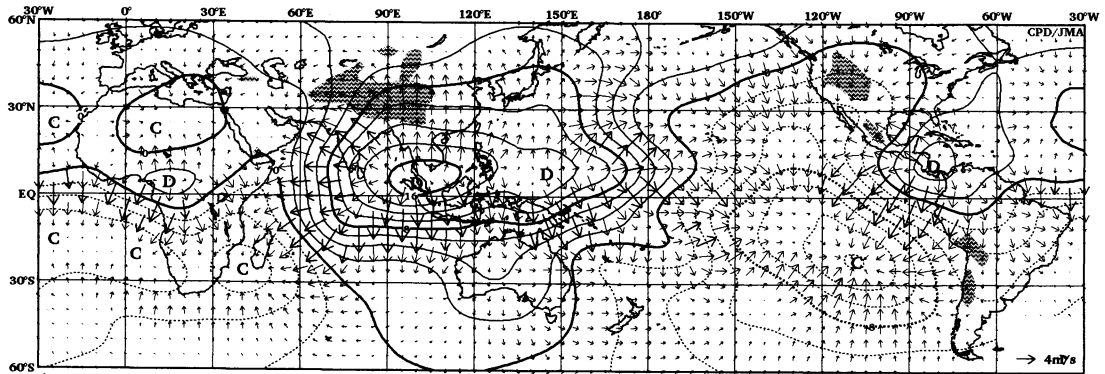
1999年10月の北半球月平均 500 hPa 高度および平年偏差
等値線間隔は 60 m, 偏差パターン間隔は 60 m, 平年値は1961~1990年のデータに基づくもの。



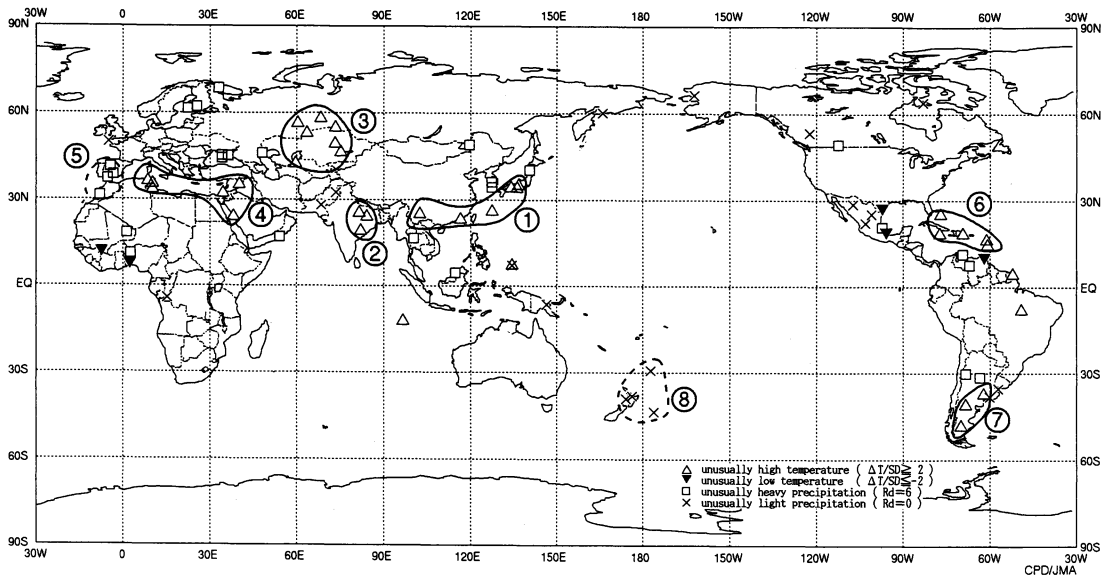
1999年10月の北半球月平均 200 hPa 風速および風ベクトル
等値線間隔は 20 m/s, 陰影部は平年で 40 m/s 以上, 平年値は1979~1996年のデータに基づくもの。



1999年10月の月平均 850 hPa 高度および風ベクトル 等値線間隔は 20 m (1400 m までは 100 m)



1999年10月の月平均 200 hPa 速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$



1999年10月の世界の異常天候分布図 \triangle 異常高温 \blacktriangledown 異常低温 \square 異常多雨 \times 異常少雨
 異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6および0. 図中の番号は本文中の番号と対応している.